

平成25年度 21世紀土地改良区創造運動 北海道大賞

受賞地区の概要

～新たな水土里ネットの創造～

○道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織

○道民・国民の要請に対応した農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていきける組織を目指して



平成25年8月22日

水土里ネット北海道
北海道土地改良事業団体連合会

はじめに

21世紀土地改良区創造運動(以下「21創造運動」)は平成13年度から始まり、14年度には土地改良区の愛称「水土里ネット」が決定し、以降、この愛称の普及を含め土地改良区の役割の一層の発揮等に向けた多様な運動が全国的に展開されております。

また、平成15年度には、全国水土里ネットにおいて、全国の模範となる優れた運動や示唆に富む運動を展開している水土里ネットを表彰する「21創造運動大賞」が創設されました。

このような中で、本会は、21創造運動を一層推進する支援体制の強化を図るため、「21創造運動表彰選考委員会」を設け、平成16年度から「21創造運動北海道大賞」を選考しております。

21創造運動は、水土里ネットの役割・機能を再認識するなど自己確認、自己変革に取り組む(内部運動)とともに、農業・農村の多面的機能や農地・農業用水等の資源保全の重要性と水土里ネットの果たす役割などについて広く理解の醸成を図る(外部運動)ものであります。今後とも水土里ネットが、道民・国民が期待する農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、また、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織として発展するためには、これからも着実に継続して21創造運動に取り組んでいかなければなりません。

本会といたしましては、この表彰を通じ、関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげ、さらなる運動の推進と新たな展開が図られるよう支援して参りたいと考えております。

I 21創造運動北海道表彰について

1. 21創造運動表彰の趣旨

「水」「土」「里」は食料の安定供給や農業・農村の多面的機能の発揮の基盤となる社会共通資本。道民・国民の財産であるこの「水」「土」「里」を良好な状態で次世代へ継承するため、水土里ネットでは、農業・農村の多面的機能の発揮を支える組織、農地・農業用水等の地域資源の維持保全を積極的に担っていける組織を目指して、21創造運動を積極的に展開している。

このような中で、模範となる運動を展開している水土里ネットの表彰を通じ、活動に取り組む関係者間の情報交換や道民・国民への広報の展開につなげることにより、水土里ネット関係者の運動への取り組み意欲の高揚と意識改革を図るとともに、運動のさらなる発展と新たな展開に資する。

2. 21創造運動表彰の選考経過等

(1) 選考対象

21創造運動に積極的に取り組み、北海道の模範となる運動を行うか、又は、他の運動に対して示唆を与えうる運動を行っている水土里ネット。

(2) 選考方法

本会「21創造運動表彰選考委員会」が、道内75水土里ネットの取組状況を精査し、北海道大賞を選定する。

(3) 「21創造運動表彰選考委員会」委員

委員長	梅田安治	農村空間研究所長、北海道大学名誉教授
副委員長	浜田哲	美瑛町長
委員	長澤徹明	北海道大学名誉教授

委員	森	久美子	作家、エッセイスト
	//	小田	たず子 消費生活コンサルタント
	//	野城	正功 農政ジャーナリスト
	//	山岡	敏彦 北海道開発局農業水産部調整官
	//	濱崎	隆文 北海道農政部農村振興局長

(4) 選考基準

水土里ネットが取り組む21創造運動での愛称の普及、都市と農村との交流、地域住民等と連携した地域づくり、総合学習など学校教育との連携、先駆的な農業・農村振興、環境・景観保全、多様な広報などの推進において、その運動の取組体制、意味性、継続性・発展性で優れた活動が行われ、地域住民の理解促進や地域振興に貢献するなど運動の成果が認められること。

1) 運動の取組体制

①役職員の積極的な参加 ②運動を担う後継者の育成

2) 運動の意味性

①基本理念の明示 ②歴史の歴史の伝承 ③先駆的な取組

3) 運動の継続性・発展性

①持続的な運動の展開 ②発展・拡大 ③運動の計画性 ④多様なツールの活用

4) 運動の成果

①多様な連携 ②地域住民の理解 ③地域資源の保全強化

④農地・水保管理対策との連携 ⑤地域振興に貢献

(5) 選考経過

○表彰選考委員会

期 日 平成25年7月22日

選考内容

- ・21創造運動北海道表彰の実施方針と選考基準等について審議。
- ・道内75水土里ネットの創造運動の活動内容について、①愛称普及②都市と農村の交流③関係団体・地域住民との連携④学校教育との連携⑤先駆的な農業・農村振興活動⑥環境・景観保全活動⑦多様な広報等⑧運動の成果—の8項目に分類し、それぞれの項目で各水土里ネットがどのような活動を行い、どのような成果が上がっているのかを整理。

【北海道大賞の選考】

上記を踏まえて、これまで全国大賞、北海道大賞を受賞した以外の水土里ネットの中から、①から⑦の全ての項目について積極的に取り組んでいる5水土里ネットを北海道大賞候補として選考。その中から、選考基準をもとに特に優れた活動を展開している4水土里ネットを北海道大賞に選定。

【全国大賞推薦の選考】

昨年度までに北海道大賞を受賞している27水土里ネットと、今回北海道大賞に選考された4水土里ネットの合わせて31水土里ネットの中から特に優れた活動を展開している1水土里ネットを全国大賞中央選考委員会（全国水土里ネット）へ推薦。

Ⅱ 21 創造運動北海道大賞地区の概要

1. 水土里ネットちっぴべつ（秩父別土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①地区面積：3,938ha ②組合員数：257戸
- ③関係市町村：秩父別町、妹背牛町、深川市、沼田町
- ④役職員等数：総代35名、役員10名、職員11名

（2）21 創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇施設見学会の開催

都市住民（一般消費者等）14名の参加を得て施設見学会を開催。農地や農業用水等の重要性と、これら地域資源を管理している水土里ネットの役割について理解の促進を図っている。



関係団体・地域住民等との連携

◇地域住民と連携した植栽活動

地域住民の参加を得てパイプライン上に花壇を整備し、マリーゴールド、ハーブなどを植栽。景観保全活動に積極的に取り組んでいる。



学校教育との連携

◇小学校の社会見学に協力

教育委員会と連携して、秩父別町と姉妹町の綾川町の小学生18名の社会科見学に協力し、児童らを頭首工等に案内。水土里ネットが作成したパンフレットを配布し、農業用水や農業水利施設、水土里ネットの役割を紹介している。



先駆的な農業・農村振興活動

◇農地・水保全管理対策の積極的な推進

地域の活動組織と緊密な連携を図り、活動計画などについて指導・助言を行っているほか、より効果の高い活動を行うための研修会の支援を行っている。また、地域住民等の参加を得た円滑な活動推進に向けて積極的な支援を行っている。



（3）21 創造運動の概要と受賞ポイント

- 施設見学会や小学校の社会科見学を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 地域住民と連携を図りながら景観保全活動が計画的に行われており、年々参加者も増えるなど活動の輪が広がっている。
- 農地・水保全管理対策の活動組織の事務局を担い、活動計画の指導・助言、活動計画の適正管理を行っている。

2. 水土里ネットつきがた（月形土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ① 地区面積：1,480ha
- ② 組合員数：170戸
- ③ 関係市町村：月形町、浦臼町
- ④ 役職員等数：役員10名、職員4名

（2）21創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇地域イベントへの参加

月形町が主催する「つきがた夏まつり」に参加し、パネル展示やアンケート調査を実施し、農業水利施設の重要性や水土里ネットの役割をPRしている。



関係団体・地域住民等との連携

◇地域住民と連携した幹線用水路の草刈り清掃作業

農業水利施設の重要性や多面的機能について啓発してきた結果、地域住民の理解が得られ、草刈り清掃作業の参加について協定を締結。地域住民と連携し、幹線用水路周辺の草刈り清掃作業を実施している。



学校教育との連携

◇小学校の社会科見学に協力

月形小学校と連携し社会科見学を実施。4年生の児童らを月形ダムに案内し、農業水利施設の役割や重要性などを紹介している。



先駆的な農業・農村振興活動

◇農地・水保全管理対策の積極的な推進

地域の9つの活動組織の事務局を担い、活動計画の適正管理、地域住民等の参加を得た円滑な活動推進に向けて積極的な支援を行っている。



（3）21創造運動の概要と受賞ポイント

- イベントへの参加や小学校の社会科見学を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 地域住民と連携を図りながら景観保全活動が計画的に行われており、年々参加者も増えるなど活動の輪が広がっている。
- 農地・水保全管理対策の活動組織の事務局を担い、活動計画の指導・助言、活動計画の適正管理を行っている。

3. 水土里ネット倶知安（倶知安土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①地区面積：1,044ha ②組合員数：185戸
③関係市町村：倶知安町、京極町 ④役職員等数：役員8名、職員5名

（2）21創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇地域イベントへの参加

関係機関が主催する地域イベントに積極的に参加し、パネル展及びパンフレット等を配布し、農業用水の多面的機能や農業用水利施設の役割等をPRしている。

関係団体・地域住民等との連携活動

◇地域住民と連携した環境保全活動の推進

地域住民の協力を得て、用水路敷地へ花壇を整備し、景観保全活動を積極的に推進している。



学校教育との連携

◇農業体験交流会（施設見学会等）の開催

倶知安農業高校と連携し、3年生の生徒を対象に施設見学会を毎年実施。農業水利施設の役割及び多面的機能への理解促進と地域資源を管理している水土里ネットの役割等をPRしている。



先駆的な農業・農村振興活動

◇農地・水保全管理対策の積極的な推進

地域の活動組織の事務局を担い、活動計画などの助言・指導を行うほか、地域住民の参加を得た円滑な活動の推進に向け積極的な支援を行っている。



（3）21創造運動の概要と受賞ポイント

- 地域住民と連携を図りながら景観保全活動が計画的に行われており、年々参加者も増えるなど活動の輪が広がっている。
- 農業高校との連携による施設見学会を通じて、農業用水利施設、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 農地・水保全管理対策の活動組織の事務局を担い、活動計画の指導・助言、活動計画の適正管理を行っている。

4. 水土里ネット鷓川（鷓川土地改良区）

（1）水土里ネットの概要

- ①地区面積：3,814ha ②組合員数：430戸
③関係市町村：むかわ町 ④役職員等数：総代45名、役員12名、職員6名

（2）21創造運動の主な取組

都市と農村の交流

◇地域イベントへの参加

JAとまこまい広域穂別支所が主催する農業まつりに参加し、水土里ネットコーナーを設置してパネル等で農業・農村の多面的機能や農業農村整備事業、農業水利施設の役割・重要性を紹介している。また、クイズやグッズ等を配付し、水土里ネットをPRしている。



関係団体・地域住民等との連携

◇土地改良施設見学会の開催

むかわ町教育委員会と連携して、施設見学会を開催。小学生ら約80名を用水路や頭首工に案内したほか、集落センターでパネル展やクイズなどで農業水利施設の役割などの理解促進を図った。



先駆的な農業・農村振興活動

◇農地・水保全管理対策の積極的な推進

川東及び川西地域資源保全協力会と連携し、地域内道路の景観保全活動の一環として、路肩及び側帯への植栽や、ゴミの除去活動等を自治会等の参加を得て積極的に推進している。



多様な広報等

◇パンフレットや小冊子の作成配付

農業用水や水土里ネットの役割などを紹介したパンフレット等を作成し、地域住民等へ広く配布している。

（3）21創造運動の概要と受賞ポイント

- イベントへの参加を通じて、水土里ネット、農業用水、農業・農村の多面的機能などの役割や重要性について積極的にPRしている。
- 地域住民と連携を図りながら景観保全活動が計画的に行われており、年々参加者も増えるなど活動の輪が広がっている。
- 農地・水保全管理対策の活動組織の事務局を担い、活動計画の指導・助言、活動計画の適正管理を行っている。